



イマジン
ロータリー

2022～2023年度

滝川ロータリークラブ

会長 藤井 謙和

- 例会日：毎週木曜 PM12:30より
- 例会場：ホテル三浦華園
- 住 所：滝川市花月町1-2-26
- 電 話：(0125)-22-3344
- F A X：(0125)-24-2755
- メール：takikawarc@gmail.com
- WebSite：www.rotary.gr.jp

第3331回 例会報告 令和5年2月16日（木）

会長挨拶



2月に入り寒い日が続いているところではございますが、3年ぶりに札幌雪まつりが開催され道内外は勿論、海外からも多くの観光客が訪れ大盛況の内に幕を閉じました。また、滝川においても山田会員が実行委員長を務めておられます「たきかわ紙袋ランタンフェスティバル」が18日に開催されますので、是非多くの皆さんに足を運んで頂きたいと思っております。さて、先日発災しましたトルコ・シリア大地震により亡くなられた方が4万人を超え、滝川市の人口よりも多くなり愕然と致しますと共に心よりお悔やみ申し上げます。

幹事報告



1. 赤平・砂川・留萌・羽幌RCより会報並びに例会プログラムが届いております。
2. 全国囲碁大会及び第2510地区親睦囲碁大会のご案内が届いております。参加される方は事務局または幹事までお申し付け下さい。
3. 2023-24年度版ロータリー手帳のご注文

案内が届いております。関連資料の付録付きで税込660円です。ご注文される方は事務局までお問い合わせ下さい。

4. 甲子園大会のご案内が届きましたが、平日の日程が多く週末の日程が一つしかないため、これから野球同好会と理事会で協議致しまして皆さんにご案内させていただきます。

前回のプログラム (2)

(右の続き) 線路内に侵入したり、雪道に捲く融雪剤の塩化カルシウムを求めて道路に飛び出して車と衝突したりと年間被害総額は44億8,000万円に上ります。エゾシカは60～70万頭生息していると言われ、その2割に当たる頭数を毎年捕獲しておりますが一向に減少しないため、実際はもっと多く生息しているのではと思わざるを得ません。エゾシカは増加していますが、ハンターは高齢化により減少の一途をたどり若い世代の台頭を望めない事がこれからの課題の一つです。

前回のプログラム [講師卓話]
- 道内における野生鳥獣の実態 -
【ロータリー情報委員会担当例会】



(一社) 北海道猟友会
滝川支部支部長
滝川RC 第62代会長
鈴木英光 会員

本日はハンターから見た野生鳥獣の実態をお話させていただきます。まず、北海道猟友会は71支部に分かれ滝川支部は滝川・赤平・新十津川エリアで構成され、約60名のハンターが活動しております。私が着ているベストはユニフォームで事故防止の為に自然界に無い色で目立つように作られていますが、残念ながら紅葉の時期には自然に溶け込んでしまいます。さて、エゾシカが急速に増殖した背景は、エゾシカは明治時代に餓えと寒さにより相当減少しまして、そこから保護に転じ温暖化も影響しあつという間に全道に生息地を拡げました。私が狩猟を始めた43年前には、日高や北見に遠征してエゾシカ猟を行っていた経緯がありますので、まさか道央の滝川駅でエゾシカの駆除を依頼されるとは夢にも思いませんでした。エゾシカはレールと車輪との摩擦により生じた鉄粉即ち鉄分を求めて (左に続く)

＼(^o^)／ニコニコBOX報告 (敬称略)

大滝裕慈・鈴木英光・高山訓正・深澤和範・渡辺浩司
<小計37,000円・累計1,387,050円>

編集/クラブ会報委員会 発行日：令和5年02月28日

出席報告 2月16日

会員数	病欠	免除	出席	欠席	出席率
89名	1名	6名	48名	41名	59%

- メイクアップ：高山会員・宮崎会員 (2/2芦別RC) 入井会員 (2/3札幌幌南RC・2/7栗山RC・2/8砂川RC) 住吉会員 (2/8厚真町・安平町表敬訪問)
- ゲスト：一般社団法人 北海道猟友会 滝川支部支部長 滝川RC 第62代会長 鈴木英光 会員

【今週の寄付】 (敬称略)

- ◆米山：黒元利脇 <小計12,000円・累計835,000円>
- ◆財団：黒元利脇 <小計150ドル・累計8,473ドル>